

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-146827(P2006-146827A)
 【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)
 【年通号数】公開・登録公報2006-022
 【出願番号】特願2004-339660(P2004-339660)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

A 6 1 G 12/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 7 6 Z

G 0 6 F 17/60 1 2 6 H

A 6 1 G 12/00 U

【手続補正書】
 【提出日】平成19年7月24日(2007.7.24)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

屋内に設置され、見守り対象者の所在位置を検出する生活者検出センサと、前記見守り対象者に装着され、少なくとも一つの該見守り対象者の生体情報を検出するとともに該見守り対象者の生活者IDを出力する生体情報検出センサと、前記生活者検出センサおよび前記生体情報検出センサに接続され、前記見守り対象者の行動のイベント情報を収集するホームサーバと、前記ホームサーバにネットワークを介して接続され、前記見守り対象者の行動のイベント情報を蓄積する生活者イベントDBを備えたセンタサーバと、前記センタサーバにネットワークを介して接続され、前記生活者イベントDBに蓄積された情報を閲覧するDB閲覧端末とからなる生活見守りシステムであって、

前記ホームサーバが、

前記生活者検出センサおよび前記生体情報検出センサの出力情報に基づき前記見守り対象者の行動の前記生活者ID付きイベント情報を生成し、該生成した前記生活者ID付きイベント情報を前記センタサーバへ送信し、

前記生成した前記生活者ID付きイベント情報に基づき、前記見守り対象者の異常状態を検出し、該検出した前記見守り対象者の異常状態の情報を前記センタサーバへ送信し、前記センタサーバが、

前記ホームサーバから送信された前記生活者ID付きイベント情報と前記見守り対象者の異常状態の情報とを受信し、該受信した前記生活者ID付きイベント情報と前記見守り対象者の異常状態の情報とを前記生活者イベントDBへ蓄積し、

前記DB閲覧端末から前記生活者イベントDBの閲覧要求情報と閲覧者IDとを受信したときには、前記閲覧要求情報が指示する前記生活者イベントDBの情報のうち、前記閲覧者IDごとにあらかじめ設定されている閲覧許可情報の範囲内の情報を、前記DB閲覧端末へ送信すること

を特徴とする生活見守りシステム。

【請求項2】

請求項 2 に記載の生活見守りシステムであって、さらに、

前記ホームサーバが、前記見守り対象者によって入力される情報に基づき前記閲覧者 I D ごとに前記閲覧許可情報を設定し、前記設定した前記閲覧許可情報を前記センタサーバへ送信し、

前記センタサーバが、さらに、前記ホームサーバから送信された前記閲覧許可情報を受信し、前記受信した前記閲覧許可情報に基づき自らが保持する前記閲覧許可情報を変更すること

を特徴とする生活見守りシステム。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の生活見守りシステムであって、さらに、

前記センタサーバが、前記ホームサーバから送信された前記見守り対象者の異常状態の情報を受信した場合には、さらに、前記受信した前記見守り対象者の異常状態への対応の緊急度を判定し、その緊急度が所定の緊急度よりも高かったときには、前記異常状態の情報を含む情報を所定の D B 閲覧端末へ送信するとともに、前記閲覧許可情報を変更すること

を特徴とする生活見守りシステム。

【請求項 4】

請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか一項に記載の生活見守りシステムであって、

前記ホームサーバが、さらに、前記屋内に設置された第 2 の生体情報検出センサに接続され、前記第 2 の生体情報検出センサの出力情報に基づき前記見守り対象者の行動のイベント情報を生成すること

を特徴とする生活見守りシステム。

【請求項 5】

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれか一項に記載の生活見守りシステムであって、

前記ホームサーバが、さらに、前記屋内に設置された環境異常検出センサに接続され、前記環境異常検出センサの出力に基づき、前記屋内の環境異常を検出した場合には、前記検出した環境異常の情報を前記見守り対象者の異常状態の情報として前記センタサーバへ送信すること

を特徴とする生活見守りシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】生活見守りシステム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、高齢者などが生活する居宅における生活者の生活状況の情報を収集し、その収集した情報を別居家族などに提供する生活見守りシステムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

以上の従来技術の状況に鑑み、本発明の目的は、見守り対象者が複数の場合であっても、それぞれの見守り対象者を識別して生活情報を取得することが可能なようにし、また、

見守り対象者自身が自らの生活情報の提供を許可する相手と提供情報の項目とを設定することができるようにし、さらには、緊急時には、いったん設定された情報提供の項目を広げるように変更できるようにした生活見守りシステムを提供することにある。